

# 長期ビジョンにおける 取組の内容について(前半)

第5回 「(仮称)はちおうじ未来デザイン2040」懇談会  
令和4年(2022年)1月18日



# 1 計画の全体像

(仮称) はちおうじ未来デザイン2040

基本構想

「まちづくりの基本理念」

人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子

価値の浸透

年限なし

6つの「都市像（私たちが目指すまち）」

目的

都市像の実現

「基本施策」

長期ビジョン（基本計画）

みんなで目指す  
2040年の姿

「都市像」の実現に向けたターニングポイントである2040年までに実現を目指す姿

（“市民の暮らしや理想の状態”で表現）

達成に向けて

施策

「基本施策」に基づく基本的な施策展開

「変革のキーワード」

地域経営の変革に向け、社会や行政のあり方を再構築する取組

デジタル・トランス  
フォーメーション

カーボンニュートラル

「重点テーマ及び取組方針」

「みんなで目指す2040年の姿」の実現に向け、「施策」の一部を重点化

手段

「未来を拓く  
原動力」

地域自治

共創

「施策」を加速化

8か年計画

## 2 未来を拓く原動力

本市では、「八王子ビジョン2022」に基づき、

- ・ 「人とひととの支えあい、つながり」と
- ・ 市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」

を柱として市政運営を行ってきました。

その中では、本市が誇る市民力・地域力に支えられ新たなステージを迎える「市民との協働」を掲げて、地域コミュニティ活動の支援や、市民参加しやすい環境整備、様々な市民や団体の特性を活かした市民協働の推進など、市民自治の推進に取り組んできました。

今後の社会環境の変化を踏まえると、今まで以上に様々な主体と一丸となり対応していく必要があるため、「長期ビジョン」では、これまでの柱を継承しつつ、より発展的に捉えた内容を「未来を拓く原動力」として掲げ、取組を加速化させていきます。

## 2 未来を拓く原動力

### (1) 地域自治

子ども・子育て支援、防災・減災対策、防犯対策など、地域課題の中心はより住民に身近なものへと変わってきているため、地域の実情に合わせた対応がこれまで以上に必要です。

地域のことを地域自らが決め、それを実行する「地域自治」の推進により、地域課題の解決を図っていきます。

### (2) 共創

生産年齢人口の減少に伴う働き手不足による医療・介護問題や公共交通ネットワークの縮小、消費市場の規模縮小による地域経済の衰退、さらには気候変動とともに深刻化する災害対応など、社会的課題・地域課題は多様化・複合化していくことが予想されます。

これらの課題に対応していくためには、行政のリソースだけでは、限界が見られるようになっており、多様な主体が持つ特性を紡ぎ、互いの知恵とノウハウを共有し、新たな価値を創造する「共創」を基盤として施策を展開していくことが重要となります。民間事業者、大学などとの連携による「共創」により、社会的課題・地域課題の解決を図っていきます。

# 3 変革のキーワード

地域経営の変革に向け、社会や行政のあり方を再構築する取組を全施策共通のキーワードとして決めました。

## (1) デジタル・トランスフォーメーション（DX）

本市におけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）とは、デジタル技術やデータを活用して、市民視点に立って行政サービスを変革し、新たな価値を創出するものです。

本市ではこれまでも、業務効率化を図るための業務プロセスのデジタル化や一部手続のオンライン化などに取り組んできましたが、DXにおいては、デジタル技術やデータを活用して、市民視点で業務を検証・見直し、行政サービスのあり方を再構築することが求められています。

単に手続をオンライン化するだけでなく、申請手続き自体を不要とし、該当する市民に漏れなくサービスを提供するように仕組みを抜本的に変えていくなど、誰もが分かりやすく使いやすい、ニーズにマッチした質の高いサービスを実現し、市民の生活をより豊かにするため、DXに取り組めます。

# 3 変革のキーワード

## (2) カーボンニュートラル

令和2年（2020年）10月、国は令和32年（2050年）までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」※ から、植林、森林管理などによる「吸収量」※ を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化をする必要があります。

このカーボンニュートラルへの挑戦が、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につながるという発想で取り組んでいくことが重要です。本市が有する森林資源や水資源、里山などの豊かなみどりの保全・活用はもとより、市民一人ひとりのライフスタイルの転換など、全市一丸となって取組を推進するべく、令和32年（2050年）のカーボンニュートラル実現に向けて取り組みます。

※ 人為的なもの

# 4 重点テーマ及び取組方針

「みんなで目指す2040年の姿」の実現に向け、令和12年度（2030年度）までに重点的に取り組む内容を定めました。

重点テーマ① 未来の主役づくり

重点テーマ② 未来へのつながりづくり

重点テーマ③ 未来に続く都市づくり

# 4 重点テーマ及び取組方針

## 重点テーマ① 未来の主役づくり

～テーマに込めた思い～

未来を担うのは子どもから高齢者までの一人ひとりの市民です。一人ひとりが主役であるまちの実現には、健康で周囲の支えあいのもと、つながりによる安心の中で自分のみちをあるけるようになることにとどまらず、個々のできる範囲での社会参加を通じて支える側になっていくことで、心の豊かさや生きがいを得ていくことが重要です。

一人ひとりが主役であるまちの実現により、個人の成長だけでなく、地域の未来にもつながる好循環を生み出し、地域コミュニティの活性化、地域や八王子への愛着や誇りの醸成につなげていきます。

# 4 重点テーマ及び取組方針

## 重点テーマ① 未来の主役づくり

### 【取組方針】

- ア 地域全体で子育てを支えるとともに、切れ目のない質の高い教育を通して、未来を担う子どもの「生きる力」を育みます。
- イ 多様な学びの機会を創出し、誰もが働きやすく、社会参加できる環境を整えることで、一人ひとりの「自己実現力」を育みます。
- ウ 自然に健康でいられる環境と地域医療体制を整備するとともに、セルフケア能力を高める支援を通して、一人ひとりの健康を育みます。